

1960年 大会記録

※注釈なしはフリースタイル

国際

◇全米選手権（3月30日～、米国・サンフランシスコ）

▼フライ級 大林卓弥（関学大）、久保祇啓（関学大）、梅沢壤（慶大）、松原正之（日大）、▼バンタム級 坂本幸紀（関学大）、大橋弘次（明大）、▼フェザー級 平野功（関学大）、▼ライト級 村野力（中大）、▼ウェルター級 藤井健二（関学大）、▼ライトヘビー級 岩見武夫（早大）、川野俊一（法大OB）、▼ヘビー級 石黒馨（中大OB）

◇ローマ五輪（8月26日～9月6日、イタリア・ローマ）

《フリースタイル》▼フライ級 松原正之（日大）＝2位、▼バンタム級 浅井正（北日本砂鉄鉱業）＝4位、▼フェザー級 佐藤多美治（中大）＝4位、▼ライト級 阿部一男（丸大用紙店）＝四失、▼ウェルター級 兼子隆（中大学友会）＝4位、▼ミドル級 永井隆（赤城印刷）＝四失、▼ライトヘビー級 川野俊一（雪印物産）＝四失、▼ヘビー級 石黒馨（日本通運）＝二失

《グレコローマン》▼フライ級 平田孝（平田商店）＝4位、▼バンタム級 市口政光（関大）＝五失、▼フェザー級 高比良政利（拓大）＝二失、▼ライト級 北村光治（山本商店）＝5位、▼ウェルター級 武田幸彦（中大OB）＝三失、▼ミドル級 青海上（明大）＝二失、▼ライトヘビー級 石倉俊太（日本カーバイド）＝二失、▼ヘビー級 重岡完治（八幡製鉄）＝二失

国内

◇ローマ五輪第3次予選＝フリースタイル（4月1～3日、東京・台東区体育館）

※各階級5位以内の選手を選抜（成績省略）

◇関東学生春季新人戦（4月23～24日、東京・青山レスリング会館）

《優勝者》▼フライ級 堀口博資（慶大）、▼バンタム級 野地紀伊光（慶大）、▼フェザー級 鎌田隆彰（日大）、▼ライト級 阿久津英紀（明大）、▼ウェルター級 渡辺長武（中大）、▼ミドル級 井川三千男（中大）、▼ライトヘビー級 堀内将行（中大）

◇全国高校選抜大会（5月3日、新潟・長岡市厚生会館）

《学校対抗戦》[1] 新潟・新潟明訓（4年ぶり4度目）、[2] 新潟・新潟商、[3] 宮城・仙台育英、新潟・北越商

◇ローマ五輪第3次予選＝グレコローマン（5月13～15日、東京・台東区体育館）

※各階級5位以内の選手を選抜（成績省略）

◇関東学生リーグ戦（6月、東京・青山レスリング会館）

《順位》[1] 明大（3年連続15度目）、[2] 中大、[3] 日大、[4] 早大、[5] 専大、[6] 法大、[7] 立大

◇西日本学生春季リーグ戦（6月11～12・18～19日、関学大）

《順位》[1] 関大（5季ぶり11度目）、[2] 関学大、[3] 名商大、[4] 近大、[5] 同志社大、[6] 名城大

◇ローマ五輪最終予選（7月1～6日、東京・台東区体育館）

《フリースタイル優勝者》▼フライ級 浅井正（北日本砂鉄鉱業）、▼フェザー級 佐藤多美治（中大）、▼ライト級 阿部一男（丸大洋紙店）、▼ウエルター級 兼子隆（中大学友会）、▼ミドル級 永井隆（赤城印刷）、▼ライトヘビー級 川野俊一（雪印物産）、▼ヘビー級 石黒馨（日本通運）

《グレコローマン優勝者》▼フライ級 平田孝（平田商店）、▼バンタム級 市口政光（関大）、▼フェザー級 高比良政利（拓大）、▼ライト級 北村光治（山本商店）、▼ウエルター級 武田幸彦（中大OB）、▼ミドル級 青海上（明大）、▼ライトヘビー級、▼ヘビー級

◇インターハイ（8月5～7日、新潟・新潟明訓高）

《学校対抗戦》[1] 新潟・新潟商（初）、[2] 新潟・新潟明訓、[3] 秋田・秋田短大付、群馬・館林

《個人戦優勝者》▼52kg級 八田忠朗（神奈川・慶応）、▼55kg級 上武洋次郎（群馬・館林）、▼58kg級 本川信之（東京・東京実）、▼61kg級 高橋棟男（大阪・大阪府立）、▼65kg級 秋山行晴（東京・三商）、▼69kg級 田上明男（東京・京北）、▼69kg以上級 佐々木龍雄（秋田・秋田経法大付）

◇全日本学生選手権（9月8～10日、東京・青山レスリング会館）

《優勝者》▼フライ級 今泉雄策（中大）、▼バンタム級 池田進（日大）、▼フェザー級 渡辺長武（中大）、▼ライト級 川口恭三（中大）、▼ウェルター級 由井敬二（日大）、▼ミドル級 石川忠男（日大）、▼ライトヘビー級 二階堂誠（中大）

◇全日本社会人選手権（9月11日、東京・青山レスリング会館）

《実業団対抗》[1] 本間組、[2] 小玉合名、[3] 帝国石油、日野ジーゼル

《個人戦優勝者》▼フライ級 原田紀之（防衛庁）、▼バンタム級 諏訪一三（三一鋼材）、▼フェザー級 伊藤賢治（本間組）、▼ライト級 北清治（本間組）、▼ウェルター級 味方正宏（本間組）、▼ミドル級 渡辺和義（本間組）、▼ライトヘビー級 丸山彰治（東京・自由ヶ丘学園高教）、▼ヘビー級＝出場なし

◇東日本学生王座決定戦（10月15～18日、東京・青山レスリング会館）＝決勝

中大○ [7-2] ●明大

※中大は4年連続7度目の優勝

◇国民体育大会（10月23～27日、熊本・玉名中）

《一般優勝者》▼フライ級 島倉鶴久（北海道）、▼バンタム級 利光紀（神奈川）、▼フェザー級 大橋弘次（群馬）、▼ライト級 矢田良彦（大阪）、▼ウェルター級 阿部一男（新潟）、▼ミドル級 青海上（新潟）、▼ライトヘビー級 川野俊一（神奈川）、▼ヘビー級 風間貞夫（新潟）

《高校優勝者》▼52kg級 八田忠朗（神奈川）、▼55kg級 吉田義勝（北海道）、▼58kg級 渡辺節男（山形）、▼61kg級 本川信之（東京）、▼65kg級 渡辺勝義（新潟）、▼69kg級 中山信吾（秋田）、▼73kg級 佐々木龍雄（秋田）

◇関西学生秋季リーグ戦（11月11～13日、名商大）

《順位》[1] 関大（2季連続12度目の優勝）、[2] 関学大、[3] 近大、[4] 同志社大、[5] 名商大、[6] 名城大

◇関東学生秋季新人戦（11月12～13日、東京・青山レスリング会館）＝優勝者

《優勝者》▼フライ級 古川鉄男（日大）、▼バンタム級 金子正明（専大）、▼フェザー級 利光紀（早大）、▼ライト級 貫井成男（早大）、▼ウェルター級 阿久津英紀（明大）、▼ミドル級 大坂正憲（専大）、▼ライトヘビー級 井川三千男（中大）

◇全日本選手権＝フリースタイル（12月3～4日、東京・青山レスリング会館）

《優勝者》 ▼フライ級 今泉雄策（中大）、▼バンタム級 金子正明（専大）、▼フェザー級 渡辺長武（中大）、▼ライト級 三田守（中大）、▼ウェルター級 井川三千男（中大）、▼ミドル級 石川忠男（日大）、▼ライトヘビー級 川野俊一（法大OB）、▼ヘビー級 尾形武（拓大）

◇全日本学生王座決定戦（12月5日、東京・青山レスリング会館）

中大○ [9-1] ●関大

※中大は4年連続7度目の優勝

◇全日本選手権=グレコローマン（12月10～11日、東京・青山レスリング会館）

《優勝者》 ▼フライ級 花原勉（日体大）、▼バンタム級 利光紀（早大）、▼フェザー級 村野力（中大）、▼ライト級 阿久津英紀（明大）、▼ウェルター級 高橋秀夫（近大）、▼ミドル級 波山竜美（明大）、▼ライトヘビー級 高比良昭男（拓大OB）、▼ヘビー級 杉山恒治（明大）